

キルギス・ロシア・スラブ大学 (KRSU)

講座タイトル

実施期間：2014年9月~2015年6月

(秋期)

- 第1回 「アジア共同体のより良き理解への序論」
(9月3日) V. Ploskih (KRSU 教授)
- 第2回 「東洋の傑出した作家、詩人、思想家の作品に見るアジア諸民族間の平和維持強化と協力のアイディア」
(9月10日) V. Ploskih (KRSU 教授)
- 第3回 「アジア諸国間の文化的・下部構造的ハブとしての中央アジア」
(9月17日) V. Voropaeva (KRSU 教授)
- 第4回 「ヨーロッパ連合を範としてのアジア共同体の構築」
(9月24日) V. Ploskih (KRSU 教授)
- 第5回 「東洋諸国結合の一要素としての宗教・文明の基盤」
(10月1日)
- 第6回 「アジア諸国：発展と協力方法の選択」
(10月8日) V. Voropaeva (KRSU 教授)
- 第7回 「21世紀の東洋諸国の政治的不安定要因」
(10月15日) D. Djunushaliev (国立科学院教授、歴史研究所所長)
- 第8回 「中央アジアの社会的、経済的、文化的発展への JICA の貢献」
(10月22日) Z. Kurmanov(KRSU 教授)
- 第9回 「日本 — 発展の先例及びアジア諸国の収斂点として」
(10月29日) Z. Kurmanov (KRSU 教授)
- 第10回 「近代化の現代グローバル過程における東洋文明の役割」
(11月5日) Z. Kurmanov (KRSU 教授)
- 第11回 「統一アジア共同体創設における中央アジアの位置と役割」
(11月12日) L. Skreminskaya (KRSU 助教授)
- 第12回 「統一アジア構築の一要因としてのアジアにおける教育の発達」
(11月19日) A. Dzhakishhev (KRSU 教授)
- 第13回 「アジア諸国の発展と統合のための新シルクロードの建設」
(11月26日) V. Voropaeva (KRSU 教授)
- 第14回 「仏教—アジア諸国の平和、協力、統合の宗教」
(12月) V. Voropaeva (KRSU 教授)
- 第15回 「カザフスタンと東南アジア—貿易と経済協力」
(12月) Men Dmitriy (カザフ国立教育大学教授)

- 第 16 回 「現代における統合・収斂の重要要因としての中央アジアと東南アジア諸国
(12 月) 間の経済的協調」
V. Yanshin (KRSU 助教授)
- 第 17 回 「試験」
(12 月) A. Dzhakishhev (KRSU 教授)
- (春期)
- 第 1 回 「集会、諸会議、協力、対話等を通じ、アジア諸国の民族融和政治を進める
(2 月) 方法」
Men Dmitriy (カザフ国立教育大学教授)
- 第 2 回 「キルギスタンと日本の 20 年に及ぶ協力関係について」
(2 月) A. Kutanov (キルギス国立技術大学教授、KRENA 議長)
- 第 3 回 「今日の中央アジアと東南アジア諸国間の政治的協調」
(2 月) V. Yanshin (KRSU 助教授)
- 第 4 回 「アジア諸国統合の重要な要因としてのコミュニケーション方法」
(2 月) N. Kharchenko (KRSU 教授)
- 第 5 回 「統一基盤としての、アジア諸国間の領土紛争、国境確定問題の解決」
(3 月) V. Yanshin (KRSU 助教授)
- 第 6 回 「東洋の歴史・文化空間の統合過程と統合強化」
(3 月) N. Kharchenko (KRSU 教授)
- 第 7 回 「遊牧文明と米作文明の文化的相互作用」
(3 月) L. Skreminskaya (KRSU 助教授)
- 第 8 回 「文化遺産保存に関するアジア諸国間の協調問題」
(4 月) G. Dzhunushalieva (KRSU 助教授)
- 第 9 回 「キルギスタンと日本の政治的、経済的關係」
(4 月) A. Kutanov (キルギス国立技術大学教授、KRENA 議長)
- 第 10 回 「集束点かつ文化理解要因としての現代の伝統的アジア料理」
(4 月) L. Skreminskaya (KRSU 助教授)
- 第 11 回 「アジア共同体のビジョンと目的：連絡橋としての ICT」
(5 月) A. Kutanov (キルギス国立技術大学教授、KRENA 議長)
- 第 12 回 「仏教と中央アジアの歴史」
(5 月) V. Yanshin (KRSU 助教授)
- 第 13 回 「統一アジア形成の基盤としての東洋の文化遺産」
(5 月) L. Skreminskaya (KRSU 助教授)
- 第 14 回 「試験」
(5 月)

※講義日程および内容は講師の都合等により変更になることがあります。